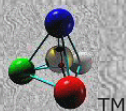


概念デザイン研究所

Conceptual Design Laboratory

Contact: taizan@gainendesign.com taizan@lapis.plala.or.jp



概念デザイン研究所の主要商品4 ; 『コンセプト・リサーチ』

『概念デザイン論』トリプルセットの原本を公開します！

CORE CONCEPT



ACTI N
POINT

【アクションポイント】

新しいなにかがおこる。
次の何かへすすむ力の作用点となる、原動力空間。

金沢21世紀美術館には、
「美術館らしい」オペレーションがない。
入り口はいくつもあり正面もなく、迷って観覧もそう決まっていらない。
来た人の気分であいて、何かに出会う。そこで触れて感じる。
自分の中でぼつんとあった何かの芽がこの様々なしなかに発露され、
作用点→ACTION POINTとなり新しい発想や発見、感情が生まれる。
言葉では得られない新鮮な気持。

何も強制しない
自由であること。
五感を満たして入ってくる情報で自分のなかで何か発見や感動があること
そのためにシンプルなカラーやフォルム。

どのみちを渡るのか、
その日の気分で見えれば、そこで新しい発見がある。
次いで対象がわかる。それを差さんだけ。
明日の自分にアクションをかける場所となる。





POSITION

競合商品のコンセプトや過去の対象物のコンセプトを的確に分析し、それが持つ『コンセプト・パッケージ』を明らかにします。

これにより「敵を知り、己を知らば、百戦危うからず…」という状況を生み出します。

事例として、2005年に実施した「金沢21世紀美術館のデザイン・コンセプト」を独自に分析した結果をご提示します。

2005年当時、概念デザイン研究所が選ぶ“最高の空間10選”の中の 하나가金沢21世紀美術館です。

金沢21世紀美術館はその後2010年にプリツカー賞を受賞し、一気にその名を国内外に高めました。

そのとき同時にあらためてデザイナーの妹島和世氏、西沢立衛氏によってデザイナー側のコンセプト解説も表明されました。

両方を比較してご覧いただければ、概念デザイン研究所が行っている「コンセプト分析」の品質の高さがお分かりいただけるものと確信します。

なお、「コンセプト分析」以外にも、コンセプト、コンセプト・メイキングに関する、クライアント様からのご要望にお応えすべく、あらゆる『コンセプト・リサーチ（調査・分析）』をいたします。

[コンセプト分析事例；『金沢21世紀美術館のデザイン・コンセプト分析』](#)

- ◎ [概念デザインについてのFAQと解説](#)へはコチラからどうぞ
- ◎ [やさしい”概念”講座…と…商品コンセプト講座](#)へはコチラからどうぞ
- ◎ [コンセプト・メイキングのノウハウについて](#)へはコチラからどうぞ
- ◎ [概念デザイン研究所総合パンフレット](#)へはコチラからどうぞ

お申し込みおよびご質問は次のメールにてお願いいたします。

taizan@gainendesign.com taizan@lapis.plala.or.jp

[概念デザイン研究所top-page](#)△